

八ヶ岳でホワイトクリスマス

12/24~25

メンバー L 陶山 泰、伊藤 碩志、
 蔵田 道子、西川 克之、
 島田 隆一、
 リコー山の会：小倉 廣一、黒須 洋子、
 北郷 妙子

初めに 島田氏の感想から

冬山訓練に参加して
 (12/24-25 八ヶ岳)

入会希望者 島田 隆一

私にとっての冬山は、振替おこな
 青い空、純白の雪、アトの食事
 クリスマスパーティを 本音に響く週末である。
 と同時に、厳冬期のアト生活者へ冬山
 山行への準備、今までの準備、行動の準備
 多少の迷いも手裏に抱き、下る
 感想を述べたいと思ふ。

- 1) 今更と違って歩行のペースが速く、休みの少ない
 今後山行を要するに、徐々に慣れると思ふ。
- 2) 冬山準備の不足を痛感した。特に足先の防寒。
- 3) 夜行対策。夜行で眠れなかったため、後継者
 皆と行けなかったのが残念。いかに準備よく眠る
 かが今後の大きな対策課題と思ふ。

最後に、発車までには幸甚。伊藤リコーに御迷惑を
 かかけない事を、お詫言います。

つぎに西川氏の 報告

12月24日 快晴

前夜 新宿発 23:55 に乗る。正月前で谷間
 谷のか比較的すいていようだ。RMCより
 クリスマスケーキを頂き、陶山さんが大善に
 テント場まで運んでくれた。

茅野でタクシーに分乗し美濃戸口へ。
 文々と太ったネコがナレナレしく出迎える。
 食料の残りをもらって味をしめたのだろうか。
 暗い中を早速に出発。マイナス12℃。
 うっすらと雪をかぶった林道にキョッ、キョッと
 靴音だけがこだまして、夜が明けていく。

一しきり歩いて美濃戸山荘。ここで
 朝食を摂り、時々爆発するストーブで
 暖をとる。南沢の道に入って雪も深くなり
 こたえだ歩く。背中の荷物がいい加減
 重くなってきた頃、樹林が開け 横岳
 三壁が目にとびこんでくる。行者は
 とう間近だ。

行者小屋の上手にテント設営後、黒須
 さんはテントキーパーに残り、7人で地蔵
 尾根に向かうが、島田さんも履不足の
 こめひきかえす。20分程登って傾斜
 が急になってきた所でアイゼンを着ける。
 アイゼンを使うのは初めてなので、ひと
 がどのことをやっているという満足と伴に
 はずれたりしないが不安でもある。歩き
 始めは非常にもどかしく感じられたが
 すぐなれた。樹林帯をぬけると鎖場
 のある岩稜帯に出る。一見おっかない

58.12.24 行者小屋近くを行人



がザイルで確保してくれたので不安
 なく通過し、稜線に出る。

ひとまず赤岳石室で休憩し、時間に
 余裕がなくガスも出てきたので引き返す
 ことにする。下りも同様にザイルを
 繰り出し、あとは気楽に戻る。

なお今回はリコー山の会と合同なので
 食事・就寝はそれぞれ別れたが、
 行動とクリスマスパーティは合同で
 おこなった。

12月25日 くもり

朝方 雪なので近辺を歩くことにする。
 文三郎新道から阿弥陀岳への道に
 分け入り、まず樹間の深雪を一列
 横隊(初めは)で登り下り。これを
 又往復。それから中岳のコルへ

木の根の穴状の所まで沢筋をたどる。やや急だが雪がしまっていてアイゼンが程よくきく。早々とテント場に戻り撤収。

帰りは労山に顔を立てて小松山荘による。茅野までタクシーをたのみ、折よくあった臨時快速で帰京。赤岳頂上へは行けなかつたものの雪山の雰囲気をも十分に満喫することができた。

(西川 記)

コースタイム

12/24 美濃戸口 6:20 → 美濃戸山荘

7:15/8:00 → 行者 10:20/11:40

→ 赤岳石室 2:00/2:30 →

行者 3:40

12/25 行者 6:40 → 木の根 8:30/9:00

→ 行者 9:20/11:00 →

小松山荘 12:10/12:50 →

美濃戸口 1:25

神楽峰～ 雁ヶ峰



L安達.菅沼.金子.古川

12月8日 晴

正三合宿の滑りに不満があり、神楽峰～雁ヶ峰へと滑りに行った。快適に滑れる様にと荷物は駅のコインロッカーに預けて軽装で出かける。

暗天で神楽峰から2010mの登りも新雪を滑ることはさほど苦ではない。期待して登る。レカレ屋は重たく、硬かつた。滑る2010m～雁ヶ峰の斜面を歩みと成る。しまいはシーレをつけておくことに決めてしまった。降りたときも出たときもくらくらとした。雁ヶ峰からスキー場までは快適な滑降となる。雪面がフラットな所もある。今回は残念ながら足のつかぬ滑るよりはよく山行であった。

帰りは新幹線を利用して帰ってきた。

西川

特大ザリに

荷物と帯を

ギョウリつめて

山にゆきたいな!

M

妙高

菅田道子(記), 白沢光代

1月4日 お昼すぎ妙高高原駅で白沢さんと落ち合う。特急白山でのんびりと... バスの接続もすぐで、まずは杉の沢の民宿へ。この日帰る宿の人から一日奉をもらい、ただで妙高国際スキー場を2時間程する。お天気が悪く寒かった。

1月5日 初めは小雪。お隣りの杉の原スキー場へ行き、薄日を見せてくれたので、早めのお昼をすませ、要という所まで、ゆるい登りの林道をつかったツアーコースを行き、池の平スキー場に出る。出だし少し迷うが、後は番号のプレートを見つけ安心。池の平スキー場の上部は、いくら滑らないうちに、ゲレンデに出てしまいがかり。スキー場も昔の印象ではおもしろかった。

1月6日 池の平もおもしろくなかった。夕方で赤倉まで行く。暗れてきたので、チャンピオンリフトの上から前山めざしてシールで登る。妙高や神奈山の直近に見え景色は良いのだが、ラッセルは結構きつく、1723m地点で引きかえす。下りを楽しみにしていくのに何と... 上はクラスト、下は深雪のすべりにくい雪に... くり。それでも、あっという間に下って食堂でひと休みし、一回上からすべってバスで帰る。

1月7日 杉の原スキー場の上部のゲレンデで少しすべり、始発のあさる18号にあわせて帰京。宿にそとるのがおそくなり、せっかく用意して下ったおもしろいことをこねた。